

事業完了報告書（兵庫県教育委員会）

調査研究期間等

調査研究期間	令和5年5月31日 ～ 令和6年3月15日
調査研究事項	<p>≪委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究≫</p> <p>Ⅲ. 都道府県・市町村間の連携に関すること</p> <p>研究テーマ「県内各市町教育委員会における取組の把握・分析及び市町間連携の推進」</p>
調査研究のねらい	<p>夜間中学は、義務教育未修了者のほか、義務教育を修了していない外国人や不登校等により実質的に十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した者等の就学の機会の確保に重要な役割を果たしており、本県には、現在、神戸市立夜間中学が2校、尼崎市立夜間中学が1校設置されており、令和5年4月には、本県で4校目となる姫路市立夜間中学（姫路市立あかつき中学校）が開校した。</p> <p>平成28年12月の教育機会確保法の公布以降、本県では3つの柱（①県内全域での夜間中学に関する方向性の共通認識を図ること、②既存の夜間中学への受入れ拡大、③西播磨地域における学び直しを希望する方々への就学の機会の提供）を中心に夜間中学の設置促進・充実に向けて取り組んできた。</p> <p>1つ目の柱について、県内全域での夜間中学に関する方向性の共通認識を図るため、平成29年度から全市町を対象とした「意見交換会」を毎年開催している。さらに、本年度においては、県内の夜間中学に関する取組の方向性の共通理解を図るため「全県研修会」を実施した。加えて、全県を対象とした「義務教育修了者の追指導の状況調査」を実施し、県内の状況把握に努めている。</p> <p>2つ目の柱について、これまで神戸市及び尼崎市の3校への広域受入れの拡大を図るため、設置市である神戸市、尼崎市を含む県内市町と意見交換会を実施するとともに、県が作成した協定書案や各市町の就学の機会の提供等について情報交換を行い、神戸市、尼崎市の入学要件の緩和等を両市教育委員会及び関係市と適宜、協議を行ってきた。その結果、覚書・協定書の締結により、市外からの広域受入れを開始している。</p> <p>【参考】広域受入れの状況※令和5年5月31日時点</p> <p style="padding-left: 2em;">神戸市2名 [明石市2名]</p> <p style="padding-left: 2em;">尼崎市7名 [西宮市4名、伊丹市3名]</p> <p style="padding-left: 2em;">姫路市7名 [明石市1名、加古川市3名、高砂市1名、たつの市1名、市川町1名]</p> <p>3つ目の柱として、西播磨地域において学び直しを希望する対象者への就学の機会の提供に向け、県西部における夜間中学の新たな設置に向けて取り組んできた。具体的には、「西播磨地域における夜間中学設置検討委員会」を立ち上げ、基本計画の策定や対象者への周知方法等について検討してきた。また、姫路市立</p>

夜間中学の広域受入れに向けて、「夜間中学設置に係る西播磨地域関係市町連絡協議会」を開催した。更に、夜間中学体験会の実施や播磨圏域を中心としたアンケート調査を行うなど、広報やニーズの把握に努めてきた。

令和4年度においては、姫路市立あかつき中学校の開校に向けて「播磨圏域夜間中学連絡協議会」の開催、姫路市とともに「夜間中学体験会」や「夜間中学を知るシンポジウム」を開催し、すべての市町と覚書が締結されスケジュール通りに開校が決定する等の成果を得ることができた。しかし、一番の課題は、学び直しを必要としている対象者の掘り起こしやニーズの把握、また、県内の市町や県民が夜間中学への理解をより一層深めることであると考えている。

そこで、令和5年度は、県内夜間中学の広域受入れの更なる充実及び姫路市立夜間中学の開校後の支援、夜間中学に関する全県的な周知等、以下の通り実施した。

- 1 県内全市町や夜間中学関係者が参加する意見交換会を引き続き開催し、夜間中学に関する課題や方向性について共通理解を図るとともに、学識経験者を招聘し、全国的な取組等にも触れていただいた。更に、既存の夜間中学（神戸市2校、尼崎市1校）及び新設の夜間中学（姫路市1校）における広域的な受入れの拡大に向けて意見交換を行った。
- 2 姫路市立あかつき中学校の広域受入れの拡大に向け、播磨圏域夜間中学連絡協議会を開催し、進捗状況の確認や運営等を含む体制整備など、具体的な内容について意見交換を行った。また、あかつき中学校から現状等を報告いただくとともに施設の状況や授業の様子を参観いただき、共通理解を図った。
- 3 県内各市町における取組の状況等を把握するため、「夜間中学の充実・改善のための意見交換会 事前調査」を実施し、その結果について「意見交換会」で取り上げ、情報交換に活用した。また、「義務教育修了者の追指導の状況調査」を実施し、結果を県内各市町へ提供し、今後の夜間中学の充実・改善に向けた活用を依頼した。
- 4 県が中心となり夜間中学に関するチラシの作成や活用等による周知を実施した。また、今年度開校した姫路市立あかつき中学校について、姫路市教育委員会と連携し、学校案内や生徒募集チラシの作成と周知を実施した。
- 5 その他、夜間中学に関する情報収集のため、夜間中学に関する会合への出席や学校訪問を実施した。また、相談窓口を通じて入学希望等の情報を関係市町に提供するなど、就学の機会の提供に向け支援を行った。

調査研究の成果

【Ⅲ 都道府県・市町村間の連携に関すること】

1 夜間中学の充実・改善のための全県意見交換会

(1) 実施日 令和5年7月13日(木)

(2) 出席者(61名)

ア 県内各市町組合教育委員会夜間中学担当課長等 44名

イ 県内夜間中学(4校)管理職 6名

ウ 各教育事務所担当指導主事 6名

エ 県教育委員会事務局職員 5名

(3) 内容

ア 行政説明

イ 県内の夜間中学の状況等について

ウ 講演

講師 摂南大学現代社会学部 講師 江口 怜 氏

演題 「効果的な周知と支援ネットワークの構築について」

エ 夜間中学に関する取組状況の意見交換

テーマ 「各市町の取組の現状と効果的な支援ネットワークの構築について」

オ 総括 摂南大学現代社会学部 講師 江口 怜 氏

(4) 成果

県内の市町組合教育委員会において、夜間中学での一層の希望者の受け入れやニーズの把握、指導の向上等に向けて、本意見交換会を通して、夜間中学の取組やその成果や課題等の情報共有を図り、今後の県内夜間中学の取組の充実に資することができた。

2 播磨圏域夜間中学連絡協議会

(1) 実施日 令和5年10月4日(水)

(2) 出席者(34名)

ア 関係市町教育委員会夜間中学担当課長等 23名

(播磨東地区)

明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町、三木市、加西市

(播磨西地区)

姫路市、市川町、福崎町、神河町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市
太子町、上郡町、佐用町

イ 姫路市立あかつき中学校 校長 1名

ウ 教育事務所関係者 6名

エ 県教育委員会事務局職員 4名

(3) 内容

ア 行政説明

イ 各市町の状況報告

ウ 姫路市立あかつき中学校の現状報告及び質疑応答

エ あかつき中学校授業参観（希望者）

(4) 成 果

令和5年4月に姫路市立あかつき中学校が設置されたことを踏まえ、各市町の入学希望者の状況等に関する意見交換や夜間中学の視察を通じて、情報共有を図り、今後の円滑な広域受け入れ等の対応に資することができた。

3 夜間中学に関する調査等

(1) 夜間中学の取組及び周知等に関する調査【教育委員会対象】

（夜間中学の充実・改善のための意見交換会事前調査）

ア 対 象 県内各市町組合教育委員会夜間中学担当課

イ 時 期 6月

ウ 内 容

- ・夜間中学の周知方法
- ・夜間中学のニーズ把握
- ・入学希望者の有無
- ・入学手続き上の課題等
- ・他部局、関係機関、民間団体等との連携
- ・民間団体等の把握

エ 成 果

調査実施及び結果の提供を意見交換会の事前に行うことで、各市町の状況を踏まえた充実した意見交換を行うことができた。また、調査結果を意見交換会の講師に共有することで本県の実情に応じた助言をいただくことができた。

(2) 義務教育修了者に対する追指導の状況調査【市町組合立中学校対象】

ア 対 象 県内公立中学校、義務教育学校

イ 時 期 11月

ウ 内 容

- ・欠席の状況
- ・教育支援センターでの支援の有無
- ・フリースクール等民間施設での支援の有無
- ・進路先
- ・進学の原因
- ・卒業後の追試道の有無、方法等

エ 成 果

令和4年度に不登校となっていた生徒の進路選択や追指導の状況について調査を実施し、結果を各市町へ提供することにより、今後の夜間中学の充実・改善に向けた参考資料とすることができた。

4 夜間中学の周知等

(1) 夜間中学周知チラシ「『夜間中学』はこんな学校です。」の作成及び配布

ア 対 象 県内各市町組合教育委員会、各教育事務所

イ 時 期 8月、3月

ウ 内 容

- ・夜間中学について（対象者、時間、学習内容等）
- ・相談窓口、WEBサイト等の紹介
- ・県内夜間中学に関する情報

エ 言 語

日本語、英語、中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語で作成

オ 成 果

夜間中学の対象者は、I C T機器を活用しても直接情報を得ることが困難な対象者が多いため、チラシにより効果的な周知を行うことができた。

(2) 姫路市立あかつき中学校学校案内の作成及び配布

ア 対 象 関係市町組合教育委員会（播磨地域）、各教育事務所
関係団体等（播磨地域）

イ 時 期 8月、3月

ウ 内 容

- ・入学対象者
- ・費用
- ・授業日等
- ・入学手続きの流れ（広域受入れ含む）
- ・問い合わせ先

エ 成 果

姫路市を中心とした播磨地域の関係市町及び関係団体あて学校案内を配布すること姫路市立あかつき中学校に関する周知を図ることができた。

(3) 姫路市立あかつき中学校生徒募集チラシの作成及び配布

ア 対 象 関係市町組合教育委員会（播磨地域）、各教育事務所
関係団体等（播磨地域）

イ 時 期 12月

ウ 内 容

- ・入学対象者
- ・入学手続きの流れ（広域受入れ含む）
- ・時間割例

エ 言 語

日本語、英語で作成

オ 成果

姫路市を中心とした播磨地域の関係市町及び関係団体あて、次年度生徒募集のチラシを配布すること姫路市立あかつき中学校に関する周知と入学希望の発掘につなげることができた。

5 その他

(1) 学校訪問、各種会議等出席により情報収集を実施。

ア 姫路市立あかつき中学校学校訪問

- ・期 日：令和5年6月21日（水）17:30～19:00
- ・場 所：姫路市立あかつき中学校
- ・参加者：事務局職員3名、姫路市教育委員会職員2名 計5名
- ・内 容：姫路市立あかつき中学校開校後の状況について情報交換
設備等や授業等の様子に関する視察 等
- ・成 果：あかつき中学校の開校後の状況を把握し、その後の連携を確認
することができた。

イ 兵庫県夜間中学校教育振興会総会

- ・期 日：令和5年6月22日（木）13:00～14:15
- ・場 所：尼崎市立成良中学校琴城分校
- ・参加者：事務局職員1名、夜間中学設置市職員5名、県内4夜間中学
管理職各2名 計14名
- ・内 容：兵庫県夜間中学教育振興会役員確認、決算および予算決議
県内4夜間中学の現状について意見交換 等
- ・成 果：県内夜間中学管理職および夜間中学設置市町教育委員会担当者
との意見交換を通じて、取組の現状等について共通理解を図る
ことができた。

ウ 夜間中学セミナー「もっと知ろう夜間中学」

- ・期 日：令和5年8月5日（土）14:00～16:00
- ・場 所：姫路市市民会館大ホール
- ・参加者：事務局職員1名、姫路市教育委員会、姫路市立あかつき中学校
学校職員・中学生徒・保護者等 約60名
- ・内 容：講義「誰でも学べる夜間中学」摂南大学 現代社会学部
講師 江口 怜 氏
発表「あかつき中学校の生徒さんから」 代表生徒2名
講話「前川 喜平さんから」
元文部科学省事務次官 前川 喜平 氏
- ・成 果：全国の夜間中学の設置に関する状況や姫路市立あかつき中学校
の現状など、情報収集を行うことができた。

	<p>(2) 夜間中学相談窓口</p> <p>ア 相談件数：12件（令和6年3月11日現在）</p> <p>イ 相談者：入学希望者及び家族、知人等</p> <p>ウ 相談内容：入学希望、手続きの確認等</p> <p>エ 成 果：県内夜間中学に関する問合せや入学希望等の情報を関係市町教育委員会に提供することにより、入学に関する事務手続きなどの円滑な実施につなげることができた。</p>
--	--